



光の不思議を体験しよう

(8月7日)

工作や体験学習を通して科学について理解を深める「夏休み子ども体験講座」が、東西公民館で開催されました。小学生16人が参加し、沼津工業高等専門学校の野毛悟さんの指導で、プリズムや偏光板、回析格子を用いた実験を通し、光の3原色や光の性質について学びました。

特派員：渡邊 英機

令和とみおか 和になっておどろう！(8月10日)

第46回富岡地区夏祭り大会が、富岡第一小学校グラウンドで開催されました。金魚すくいやビンゴ大会を皮切りに、各種模擬店が祭りの雰囲気盛り上げました。盆踊り大会と花火大会で会場は最高潮に。大勢の参加者で真夏の祭典を楽しみました。

特派員：中村 隆司



現地の生徒と異文化交流

(8月19日)

オーストラリア小・中学生夏休み短期派遣事業の報告のため、派遣された児童・生徒10人が市役所を訪れました。フランクストン市で11日間のホームステイを行った生徒たちは「現地の学校で授業を受け、教育や文化の違いを学びました。帰る時は、涙を流して別れを惜しまました」などと話しました。

リメイク・リサイクルの楽しさを体験 (8月22日)

第3回エコマルシェが市民文化センターで行われました。古着の販売やリメイクのワークショップなどのブースが出展し、多くの家族連れでにぎわいました。中でも子どもたちに人気だったのは、使わなくなったおもちゃを持ち寄り、別のおもちゃと交換する「おもちゃ交換会」。リユースの精神を学ぶ良い機会となりました。

特派員：鈴木 敬盛





**富士山とコスモスの共演を
たくさんの人へ**

(8月31日)

パノラマ遊花の里でコスモス畑の草刈・草取りイベントが約110人のボランティアによって行われました。汗ばむような陽気の中、参加者の手際の良い作業で、きれいな畑になりました。蝶やトンボがたくさん飛んでいて秋の気配が少しずつ感じられる1日でした。

特派員：中村 隆司

**サムライブルーのように
ピッチを駆ける**

(9月7日)

6歳以下の子どもを対象にした「JFAキッズサッカーフェスティバル静岡 裾野&御殿場」が、運動公園陸上競技場で開催されました。参加した約200人の子どもたちは19チームに分かれ、サッカーを楽しみました。サッカー日和の爽やかな陽気の中、サムライブルーのように元気にピッチを駆け回りました。



牧水の遺徳をしのぶ

(9月8日)

第44回裾野牧水祭が市民文化センターで開催されました。裾野牧水を語る会会長の藤岡武雄さんが関東大震災時の牧水について「酒を飲んで寝ていて、全く気付かなかったそうです」などとエピソードを紹介し、会場は和やかな雰囲気になりました。出席した約70人の関係者らは、在りし日の牧水をしのいでいました。

特派員：杉本 武満、鈴木 敬盛

下水道の日に啓発活動

(9月10日)

ベルシティ裾野店前で、下水道の日啓発キャンペーンが行われました。9月10日は下水道の役割や下水道設備の重要性について関心を深めるための記念日です。上下水道経営課・工務課の職員が、小型ライトやウェットティッシュなどが入った啓発グッズを買い物客に手渡し、下水道の普及を呼び掛けました。

